

「SHIP」理念に基づく価値創造事例

Value creation based on "SHIP" Philosophy

創業時から大切にしている「SHIP」理念は、今なお当社グループの事業活動の中で息づいています。ここでは「SHIP」理念を体現する4つの取り組みについてご紹介します。

case 01 人々がより良く生きる環境をつくる Well-Being の推進

当社グループは、ミッションである「生命を守る人の環境づくり」のもと、従来の「生命を守る」取り組みに加え、「自然を守る」視点を取り入れたWell-Being推進事業を積極的に展開しています。その一環として、①公園の指定管理業務、②学校・保育施設などの包括管理業務を通じ、地域社会への貢献を進めています。

2022年7月より、吹田市立江坂公園及び江坂図書館、桃山公園の魅力向上事業における指定管理者(Park-PFI事業※)として、地域の賑わい創出に取り組んでまいりました。2023年10月からは、吹田市の小学校・幼稚園・保育所等、合計84施設の施設管理業務などを、今後5年間にわたり受託しました。公共施設の包括管理を通じ、安全・安心な学びと育ちの場づくりに貢献しています。さらに、吹田市立中の島公園(指定期間:2025年7月~2045年3月)および中の島スポーツグラウンド(指定期間:2028年4月~2045年3月)の指定管理者にも選定されました。「健康的で幸せな、市民のための拠点づくり」をコンセプトに、2026年9月頃のリニューアルオープンに向けて、整備工事を推進します。こうした取り組みの積み重ねにより、当社は今後も地域とともに歩むWell-Being事業のさらなる展開を目指します。

※ Park-PFI:2017年の都市公園法の改正で創設された、民間事業者による公共還元型の収益施設の公募設置管理制度のこと。

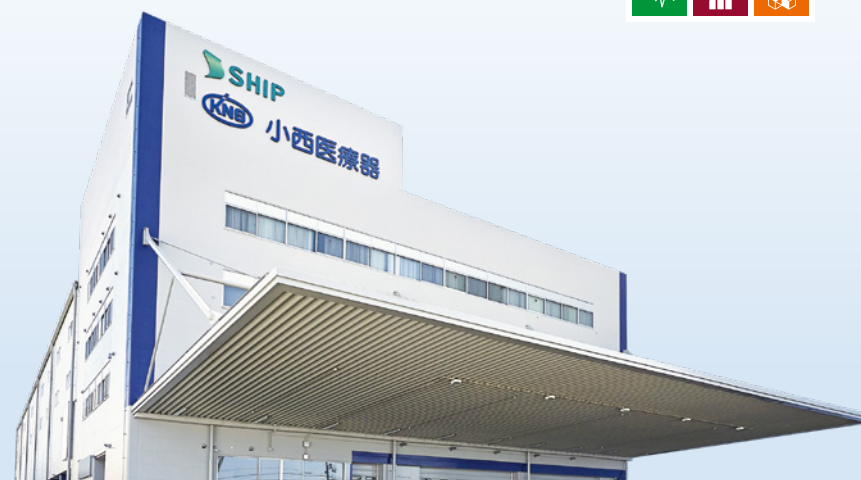


中の島公園、吹田市立中の島スポーツグラウンド

case 02 次世代医療材料物流を担う 大阪ソリューションセンター (大阪 SC)

医療施設に対して診療材料・医療用消耗品を安定的かつ継続的に供給することは、当社グループの重要な使命です。多くの医療機関は、診療材料・医療用消耗品の発注や納品・在庫管理などの事務処理に少なからず負担を感じており、医療従事者の方々の業務時間を大きく割かざるを得ないケースも散見されます。この業務を効率化し、医療従事者の方々が医療に集中できる環境をつくるため、当社グループでは医療消耗品の安定供給・在庫管理・品質維持などの医療材料物流の課題に対し、SPDサービスを駆使して多角的な視点から解決する「スマートメディカルソリューション」を展開しています。

2021年に大阪府門真市に開設した大阪SCもその一つで、次世代型のSPDを提供するための先進的な医療材料の物流拠点です。パートナー企業との共同開発という形で、最先端の自動物流施設を備えた大阪SCには大きな可能性があります。RFIDタグを活用した医療材料管理は、将来的には医療材料のトレーサビリティの可能性を拡げることにもつながります。安心・安全な医療材料物流の最適解を求めて、大阪SCの進化はこれからも続きます。



case 03 地域に根差す医療サービスに力を尽くす 川西市立総合医療センター

兵庫県川西市に位置する川西市立総合医療センターは、地域の方々に良質でやさしい医療を届けることを目的として、2022年に開設された地域の基幹病院です。この地域には、もともと市立川西病院と協立病院という2つの総合病院がありました。他の医療機関とも連携を図りながら川西市域の中で医療完結率を向上させることが、地域のために不可欠であるとの考えから、この2病院を統合させ、新たな医療センターを設置するプロジェクトが地域主導で立ち上がりました。

当社グループは、計画から開院までの支援業務を受託し、プロジェクトの成功を支えました。当社グループではこれまで、医療機関の新築・移転・増改築などのニーズに対し、計画から開院に至るまでに必要なサービスを総合的に提供する「トータルパックスプロデュース事業」を全国展開し、着実に実績をあげております。この新医療センターは、公的病院と民間病院を統合するという全国的にもめずらしいケースとなりましたが、これまで培った知見やノウハウをフルに活用し、無事オープンすることができました。当社グループはこれからも、良質でやさしい医療を提供するための支援サービスを通じて、地域に貢献していく考えです。



case 04 最先端のがん治療施設を支える 大阪重粒子線センター

大阪重粒子線センターは、全国で6番目、民間主導の民設・民営の重粒子線がん治療施設としては国内初の施設として誕生しました。2018年の開院・治療開始以来、国内外の多くの患者様の治療にあたり、2025年3月末までに、前立腺がんの患者様をはじめとして、延べ5,328人と多くの患者様の治療を行ってきた実績があります。「重粒子線」は粒子の質量が大きく、X線や陽子線など他の放射線治療に比べて体内の線量分布に優れています。重粒子線を使ったがん治療は、体へのダメージを最小限に抑えられるほか、照射による痛みも伴わないために入院も不要で、患者様のQOL維持にも優れているとも言われています。

重粒子線治療施設に関し、当社グループでは2013年に大阪府立病院機構の「重粒子線がん治療施設整備運営事業民間事業者」として指名されるなど、これまで重粒子線がん治療施設の開設や運営に関するノウハウを蓄積してきました。大阪重粒子線センターに関しても、その開設から日々の施設運営に至るまで、総合的なサービスを提供してきました。これからも、最先端のがん治療施設の運営支援を通じて、がんと闘う患者様の力になりたいと考えています。

